

高知市地域公共交通会議

地域内フィーダー系統
事業評価(令和6年度)

高知市基礎データ

合併状況: 平成17年1月に2村（鏡村・土佐山村）を編入合併
平成20年1月に1町（春野町）を編入合併
人口：313,008人（令和6年10月現在）面積：309.00km²

高知市における主な公共交通概要

○鉄道

- ・JR土讃線

○路面電車

- ・はりまや橋交差点を経由する伊野一後免線、
高知駅一桟橋線

○バス

（幹線）

- ・はりまや橋交差点を中心に高知市周辺市町又は市内
周辺部同士を結ぶ民間事業路線

○デマンド型乗合タクシー（路線運行、区域運行）

- ・鏡地域
- ・土佐山地域
- ・春野地域
- ・円行寺地域
- ・御畠瀬地域
- ・浦戸地域
- ・長浜地域
- ・行川地域
- ・久重地域
- ・大津地域
- ・布師田地域
- ・三里地域

地域の交通の目指す姿（事業実施の目的・必要性）

別添1-2参照

高知市の公共交通ネットワーク図

- 主要ターミナル
- 地域ターミナル
- 乗換ポイント
- 鉄道
- 路面電車
- 路線バス
- 乗合タクシー



高知市地域公共交通会議

地域内フィーダー系統
事業評価(令和6年度)

協議会の構成員

- ・学識経験者
- ・四国旅客鉄道
- ・とさでん交通(株)
- ・(株)県交北部交通
- ・高知市ハイヤー協同組合
- ・身体障害者連合会
- ・町内会連合会
- ・老人クラブ連合会
- ・四国運輸局
- ・高知県警察
- ・私鉄高知県連合会
- ・道路管理者(国・県・市)
- ・高知市

前年度の事業評価における課題

○年間利用者数の減少への対応

- ・地域の町内会等と運行に関する協議を継続し、住民ニーズにあった接続箇所やダイヤを検討していく。

定量的な目標・効果

(目標)

○鏡地域

- ・年間利用者数 1,450人(120人/月)
- ・収支率 13%
- ・公的資金投入額 3,476千円

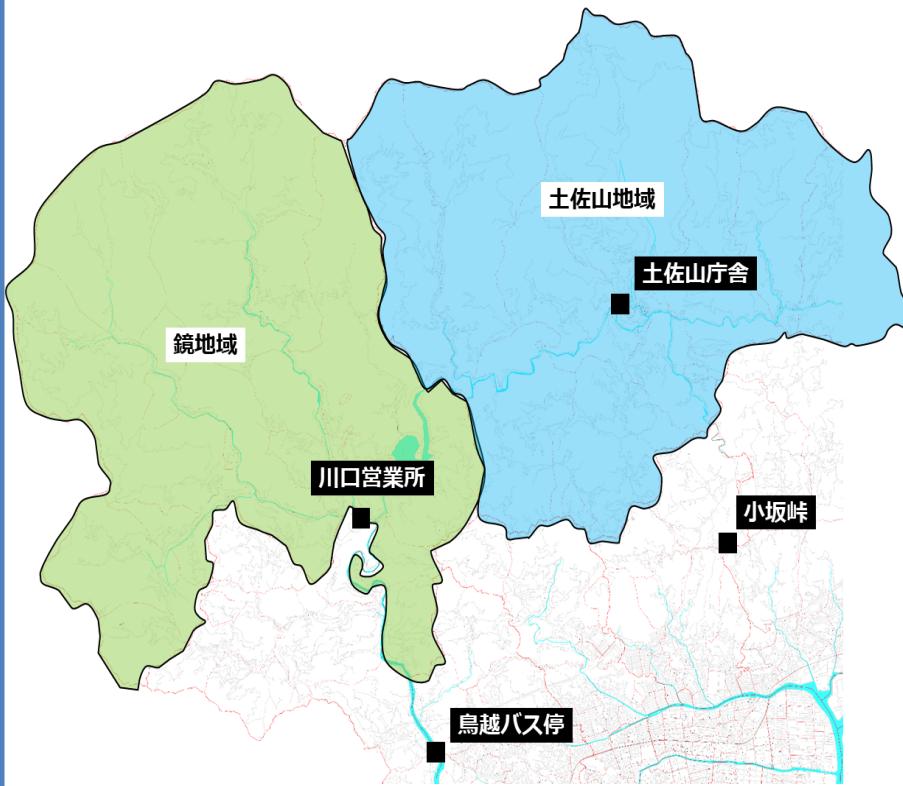
○土佐山地域

- ・年間利用者数 4,210人(350人/月)
- ・収支率 6%
- ・公的資金投入額 7,313千円

(効果)

- ・区域運行であることで利便性が向上し、運行時刻を路線バスの発着に合わせているため、市中心部への移動手段としても活用でき、高齢者の外出促進による健康増進にもつながる。
- ・土佐山地域においては、地域内の学校への通学バスや、診療所の患者送迎バス等をデマンド型乗合タクシーへ集約することにより、地域に根差した移動手段として定着させる。

フィーダー系統図



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

- ・地域住民が参加する地域の会で意見交換を行い、地域住民の意見を聴取した。
- ・主な利用者である高齢者が利用しやすい時刻設定、乗降しやすい利用環境整備の要望を受け、幹線バス事業者と接続ダイヤを調整するほか、のりおりばとする量販店等の協力のもと、乗降場所の環境改善を図っている。
- ・義務教育学校（土佐山学舎）の学校関係者等と協議し、保護者向けに利用方法の説明会を実施した。
- ・スクールバス機能を集約した通学便は定量的な目標の対象外としているが、その他の便についても児童・生徒やその保護者に周知することで、利用促進効果を狙っている。

自己評価

事業実施の適切性

乗合タクシーは、バスの入れなかつた狭隘な道まで進入することができ、また、区域運行であることから路線バスよりも格段に広い範囲の住民が利用でき、高齢者でも出かけやすいという安心感もあるため、地域交通の役割を果たしている。

「定量的な目標・効果」の達成状況

- ・鏡地域…年間の利用目標1,450人（120人/月）に対し、1,238人（103人/月）の実績となり、前年度の1,179人（98人/月）からわずかに回復したものの、目標の達成には至らなかった。
運行事業者から提出された日報等を分析した結果、乗合タクシーの高頻度利用者の利用が減少したことが主な要因であると考えられる。また、それに伴い公的資金投入額についても目標3,476千円を下回り、2,716千円となった。
- ・土佐山地域…年間の利用目標4,210人（350人/月）に対し、3,595人（299人/月）の実績となり、前年度比で延べ371人の利用者減となった。運行事業者から提出された日報等を分析した結果、乗合タクシーの高頻度利用者の利用が減少したことが主な原因であると考えられる。
(なお、地域内のスクールバス機能を集約した通学便は、地域間幹線バス系統との乗り継ぎを想定していない運行ダイヤであるため、目標利用者数及び実績数からは除外している。)

今後の事業に向けた改善点

他市の事例を研究しつつ、地域町内会や事業者への聞き取りを行い、地域のニーズに合ったダイヤや接続箇所を検討していくことで利便性向上を図り、利用者数の増加を目指す。

また、鏡地域においては、主な利用目的の一つである診療所への通院を考慮したダイヤの見直しを検討する。

その他PRポイント

土佐山地域においては、デマンド型乗合タクシーに地域の診療所やデイサービスの送迎機能を集約し、一体的に運行を継続している。